



相



CONTENTS

- 最新式マンモグラフィ装置の導入 p2
- 乳腺外来のご案内 p2
- 調布市がん検診を受けましょう p3
- 検査科業務について p4
- 新入職員インタビュー p5
- フロリール調布 p5

ご紹介します！



最新式マンモグラフィ装置の導入と認定女性技師が常駐

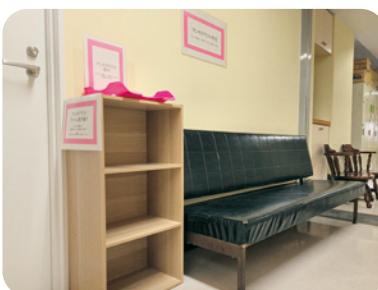
この度、新しく富士フィルム社のAMULET ELITEデジタル式マンモグラフィ装置を導入しました。

従来の装置と比較して、短時間・低線量での撮影が可能になり、検査時間や待ち時間も少なくなっています。装置を新しくするにあたって、検査室も広くなり、車椅子もスムーズに入れるようになったため、立って検査できない患者様でも座っての検査が可能となりました。

今回導入した装置は、マンモグラフィ圧迫自動減圧制御システム「なごむね」というシステムが搭載されており、通常の圧迫方法よりも痛くなる時間を短くする機能があります。

当院はマンモグラフィ認定技師が常勤しており、マンモグラフィ検査は女性技師が担当するので、安心して検査受けることができます。

ご興味あれば検診科でご相談を…。気になる事あれば乳腺外来へ…。どうぞ受付へお気軽にお尋ねください！



放射線科



乳腺外来(毎週月曜・火曜PM)のご案内

乳腺外来では、乳房にしこりなどの自覚症状のある方・検診で精密検査の指示を受けた方の診察、良性のしこり等の経過観察などを行っております。

当外来では、必要に応じてマンモグラフィー・超音波検査などの検査を実施いたします。また、さらに詳しい検査などが必要となった場合には医療機関をご紹介させていただきます。

乳がんは、増加傾向にある疾患で、40代から50代に多くみられます。是非定期的に検診を受診してください。乳房は、ご自身で触れるができる部位です。是非自己触診をしてみてください。

気になる症状(しこり、赤っぽい分泌物など)がありましたら、外来でご相談ください。また、当院で検診も実施しておりますので、定期的な検診受診もご検討ください。

調布病院 乳腺外来



乳腺外来

調布市がん検診を受けましょう



ご案内します！

4月末から令和7年度がん検診の受診券が市から送られてきます。

がんは早期に発見できれば治る可能性が高く、早期であればあるほど身体的、経済的な負担が軽くて済みます。受診期限は4ヶ月ですので、忘れずに受診しましょう。

●受診券発送スケジュール(受診期間は4ヶ月です)



● 檢診種類

健診名	対象者	内 容	備 考
胃がん(バリウム)	60歳以上	胃レントゲン撮影(バリウム)	35~55歳は保健センター
胃がん(内視鏡)	60・62・64・66・68歳	胃内視鏡検査(カメラ)	2,000円
大腸がん	35・40・45・50・55・60歳以上	便潜血2日法	
子宮頸がん	35・40・45・50・55・60・65歳の女性	子宮頸部細胞診	
乳がん検診	前年度未受診で40歳以上の女性	マンモグラフィ	※医療機関に申込み 1,500円
胃がんリスク検査	市で過去に未受診で40~49歳	血液検査 (ヘリコバクターピロリ ペプシノゲン)	
前立腺がん	50~70歳の男性	血液検査PSA	※市に申込み 1,000円
肝炎ウイルス検査	40歳	血液検査	
結核検診	60歳以上	胸部レントゲン撮影	
肝炎ウイルス検査	市で過去に未受診で41歳以上	血液検査	※市に申込み

【部署紹介】検査科業務について



令和7年3月 検査科 加藤

臨床検査技師は医師の指示のもとに検査を行います。臨床検査は「検体検査」と「生理検査」と大きく二つに分けられ、その業務は主に検査科で担当しています。

検体検査

検体検査とは血液、尿、便など採取したものに対して微生物やウイルスを探したり、血液中に含まれる酵素や脂質、腫瘍マーカーなどを分析して病気を調べたりするものです。

血液検査はそれぞれ検査に適した採血管があり、検査によっては何本も採血される事があると思います。たくさん採血されてしまったと感じるかもしれません、通常使用する採血管は一番大きなものでも最大9ml、小さなもののは1~2mlしか血液が入りません。ヤクルト一本が65mlだとすると、だいぶ少なく感じられるのではないかでしょうか。

新型コロナウイルス検査は、検査方法として「核酸増幅検査（NAT）」や「抗原検査」などがあります。PCR検査は核酸増幅検査のひとつで、他にもLAMP法や当院で採用しているNEAR法などの検査方法があります。抗原検査は、鼻咽頭ぬぐい液中のコロナウイルス抗原を簡易キットを用いて検査しますが、ウイルス量が充分でない感染初期には陰性判定になることもあります。

大腸がんや大腸ポリープを早期発見するために行う便潜血の検査は、大腸にできたがんと便がこすれて血液が混ざるので、排出された便の表面をまんべんなくこすりとることが大切です。排便時にはトイレの水等につからないように気を付けてください。

このように、検体検査は正しい採取方法で提出していただいかないと正確な結果を出すことができません。

生理検査

生理検査は患者様に接して検査を行います。心電図検査で心臓の機能を検査したり、呼吸機能検査では肺の状態を調べます。各種超音波検査では、超音波診断装置を用いて腫瘍や異常を見つけ画像を記録することなどを行います。大脳の活動状況を調べる脳波検査、めまい、ふらつきを見る重心動揺検査、血管の硬さを見る血圧脈波など様々な検査があります。



また、他にも輸血検査や検査の正確性を保つための検査機器のメンテナンスや校正を行い検査結果の信頼性を確保することも重要な業務です。

臨床検査技師は病気の診断や治療をサポートする重要な役割を担っており、多岐にわたる検査を通じて医師が正確な診断を下すためのデータを提供します。

患者様の心理的な面に関わることは少ないですが、患者様のためになる検査を常に考え、治療に役立てるよう貢献していきたいと思います。

検査科業務

新入職員インタビュー

新入職員

看護師 西川 紘美さん

①ご出身は?

東京都出身。中学生まで調布に住んでいました。



②看護師を目指した理由は?

祖父が私に医療従事者になることを望んでいて、看護師を目指すことにしました。

③最近のマイブームは何ですか?

携帯のパズルゲーム。

④患者さんへ向けて一言お願いします!

患者様に寄り添った看護の提供を心がけております。関わることがありましたら、遠慮なくお声がけください。よろしくお願い致します。



新入職員
インタビュー

フロリール調布



白百合学園中学高等学校演奏会を振り返って

令和7年4月3日に、白百合学園中学高等学校の弦楽部の生徒さん9名がフロリール調布で演奏会を開催してくださいました。当日は調布病院の入院患者様やご面会に来られたご家族も参加してくださいました。参加者は桐光会職員を含めると100名前後の方がフロリール調布のフロアにお集まりいただきました。

演奏プログラムとして1曲目はシンコペイテッド・クロック/L.アンダーソン。2曲目は「水上の音楽」より「アラ・ホーンパイプ」/ヘンデル。3曲目はカノン/バッハベル。4曲目はハレルヤコーラス/ヘンデルの4曲の構成でした。フロアに響き渡るバイオリンとチェロの音色が、午後の空気を穏やかにしていくような、非日常を味わう貴重な時間でした。参加した方からは「本物のバイオリンの音を初めて聞いたわ。90年生きて初めてよ。」と興奮されている方や、「透明な音ね。心が安らぐわ。」と目に涙を浮かべている方もいらっしゃいました。

新型コロナウイルスが蔓延し、対外的な交流が一切なくなり、人と人が会える環境が希薄となったコロナ禍を思い返すと、この演奏会が奇跡としか言えない時間なのだと感じました。これからは人と人が会える世の中となってきています。出会えることは特別なことという尊さを支援し続けられるよう、桐光会職員として尽力したいと改めて感じさせていただきました。

白百合学園弦楽部の教員・生徒の皆様、ご参加くださいました患者様・ご利用者の皆様本当にありがとうございました。

